People

専用 取扱説明書

取説 201212

People 発売元 ピープル株式会社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-15-5 モリビルディング
●商品のお問い合わせはお客様相談係まで TEL 03（3862）3739 ※電話受付時間：月～金（祝日を除く）10:00～12:00･13:00～16:00
FAX 03（3862）3730
●ピープルホームページ……http://www.people-kk.co.jp/

この度は「ピッタンコ自転車」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「ピッタンコ自転車」には、別紙「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「ピッタンコ自転車専用取扱説明書」（本冊子）の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

1）セット内容 … 必ずご確認ください。

①自転車本体
※ハンドルが外れた状態で梱包されています。

②補助輪（左右）

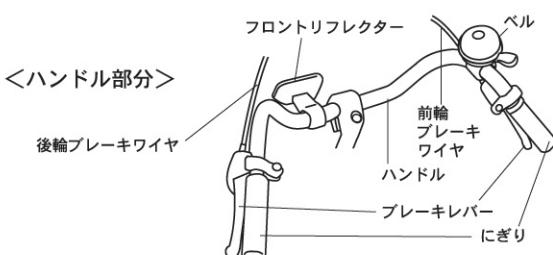
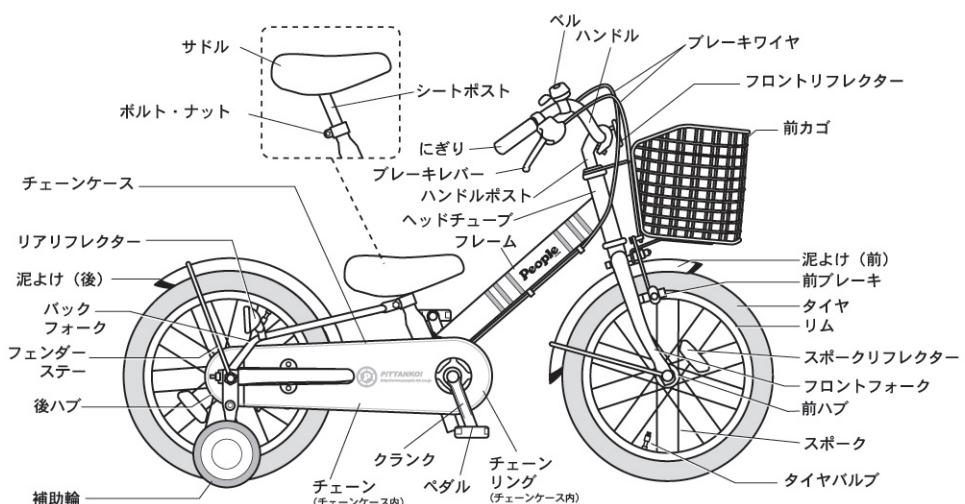
③ペダル×2

⑤自転車共通取扱説明書

⑥ピッタンコ自転車専用取扱説明書（本冊子）

※お買い上げ店様によって組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません。（P2~P3 参照）
　ホームセンター等でお求めください。
※本製品にはカギ・スタンド・ライトは付属されておりません。
　必要な方は別途、ご購入ください。

2）各部のなまえ

＜ハンドル部分＞

3）組み立て方法（お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります）

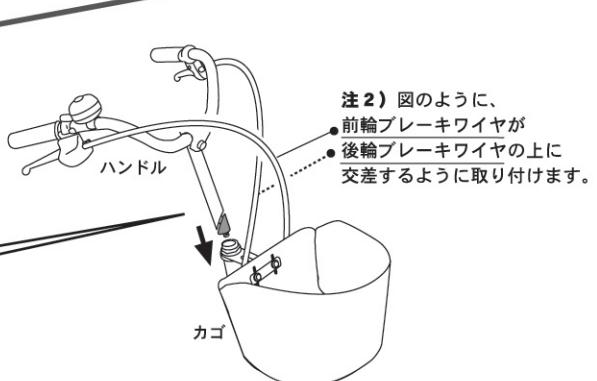
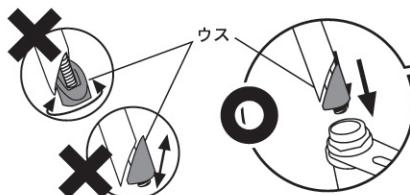
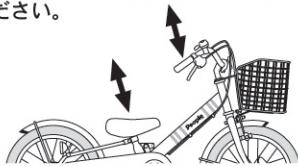
1 箱からとり出し梱包材をはずします。

2 ハンドルを差し込みます。
（固定は、サドルとハンドルの調整時にします）

注 1）
ハンドルポストの先に付いている部品（ウス）を下の図のように正しい位置にして差し込んでください。

ハンドル

カゴ

注 2） 図のように、
前輪ブレーキワイヤが
後輪ブレーキワイヤの上に
交差するように取り付けます。

3 サドルを差し込み、自転車共通取扱説明書 **P5～6の説明に従い、**体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。

4 **P3の説明に従い、**補助輪を取り付けてください。

5 使用状態完成

警告 乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。

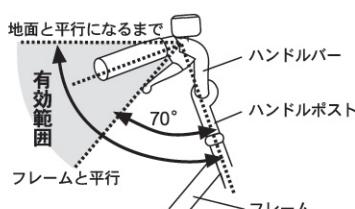
4）ピッタンコ自転車 特有の機能について

■サドル・ハンドルの調整■

このピッタンコ自転車は、3歳から7歳までお子様に快適に乗り続けていただくため、ハンドルとサドルに特別な調整が必要です。

①ハンドルの角度調整

まだ体の小さいお子様は、以下の調整方法を参考に、ハンドルの角度を「フレームと平行」になるよう調整してください。また、お子様の体格の変化に合わせて、地面と平行になるまで適宜角度調整をしてください。

●6 mm の六角アーレンキーを使って調整します。
ハンドルバー固定ネジを緩め、ハンドルバーの角度を有効範囲内で調整してください。調整後、固定ネジを元通りしっかり締め固定します。

※ハンドルバー固定ネジを調整する際、ハンドルポストを限界まで伸ばした状態で行なうと作業がしやすくなります。

※有効範囲外の角度で固定すると、ハンドル操作が難しくなりブレーキも効かなくなる恐れがある為危険です。必ず有効範囲内で調整してください。

※ハンドルの「高さ」調整については「自転車共通取扱説明書」P 6 を参照してください。

②サドルの高さ調整

両方の足先が確実に地面につくように調整してください。

ボルト（13 ミリ）

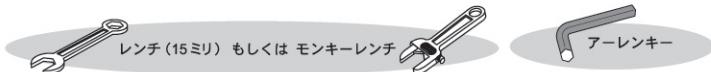
シートポスト

適正身長	サドル地上高さ
93 cm （3 歳）	約 40 cm
115 cm（7 歳）	約 49~55 cm

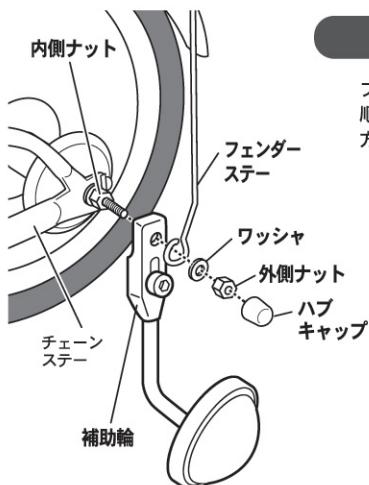
警告
●シートポストは限界標識線が見える所で固定しないでください。（自転車共取扱説明書 P2 参照）
●ボルトの固定が不十分だと危険です。しっかり固定してください。

※サドルの固定方法については「自転車共通取扱説明書」P5 を参照してください。

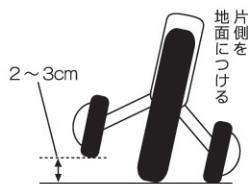
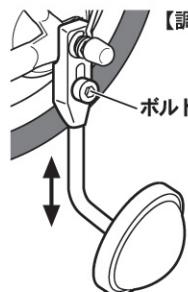
■補助輪の着脱・調整方法■

●補助輪を着脱・調整する時には、右記の工具が必要です。ご用意ください。

補助輪の外し方

ハブキャップ・外側ナット・ワッシャ・フェンダーステーをはずし、補助輪を取り除きます。内側のナットがきちんと締まっているか確認して、改めてフェンダーステー・ワッシャ・外側ナット・ハブキャップを右図の順番で取り付けてください。

※ハブキャップは使用中簡単に外れないよう、ややきつめに設計されております。取りつけにくい場合は、ハンマー等で軽く叩くと簡単に取り付けられます。外す際は、マイナスドライバー等を外側ナットとハブキャップの間に差し込むと外し易くなります。

補助輪の取り付け方

フェンダーステーの内側に補助輪を加え、左図の順番で取り付けてください。補助輪は下記「調整方法」を参考に調整してください。

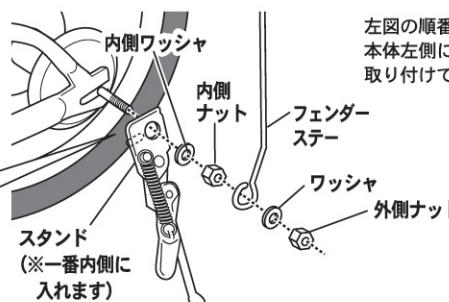
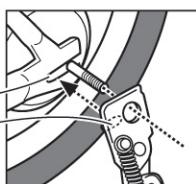
補助輪の調整方法

補助輪は、片側の補助輪を地面につけた時に、もう一方が地面から 2～3 センチ浮いているのが正常な取り付け位置です。地面についている場合や、左右の高さが異なっている場合は調整してください。

【調整方法】 左図のボルトをアーレンキーでゆるめてください。補助輪が上下にスライドして高さを調整できるようになります。調整後はボルトを締めて補助輪にガタ付きがない事を確認してください。

スタンドの取り付け

●補助輪を外した後、スタンドが必要な時は、自転車店等で 16 インチ用スタンドをお買い求めの上、取り付けを行ってください（有料）。

※スタンドの形状により、取り付けられないものもありますので、購入時に自転車店にご相談ください。

※このミゾとスタンド裏側のミゾがはまるように取り付けてください。

内側ワッシャ
内側ナット
フェンダーステー
ワッシャ
外側ナット
スタンド（※一番内側に入れます）

左図の順番で本体左側にスタンドを取り付けてください。

■ライトについて■

本商品にはライトが付属していないため、将来補助輪を外し、夜間及び暗い所を走行する時は、必ずライトを装備し、点灯するようにしてください。

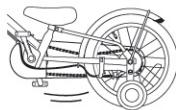
※ライトは、ハンドルに取り付ける前照灯タイプのものをお買い求めください。
※形状によっては取り付けられないものもありますので、購入時に自転車店にご相談ください。

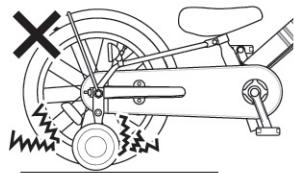
5） 乗る前の点検について

安全に乗って頂くために、乗車前に点検を実施してください。自転車共通取扱説明書 P8~10 の項目に加え、以下の項目の点検も必ず実施してください。

チェーンはゆるんでいませんか。

チェーンのゆるみが大きい状態でペダルを強く踏み込むと、チェーンが外れるなど危険があります。

強制 チェーンのゆるみが大きくなったら、自転車店等ですぐに調整してください。（有料）

補助輪はしっかり正しい位置に固定されていますか。

補助輪を付けて乗車する場合は、自転車本体に補助輪がしっかり固定されていてガタつきがないか予めご確認ください。

memo

6）長くご愛用いただくためのコツ

❶ 保管場所

長く、きれいに乗っていただくために

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。

錆び易い場所（雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・工事現場や金属加工場の近く）での保管はお止めください。

こんなことも錆びの原因になってしまいます。
・サイクルカバーをかけっぱなしにする。
・焚き火の煙がかかる。
・ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。

直射日光の当たる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

❷ 簡単にできるメンテナンス

1ヶ月に一度程度することで、更に快適に、長くお使いいただけます。

●塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ
乾いた布でよく拭き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

●メッキ部（ハンドル・サドルポスト・スポーク等）のお手入れ
乾いた布で汚れをふき取り､｢錆び止め油｣か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所（上記!保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を 2 週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気をとりよく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「(6) お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。

傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り､｢さび止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

❸ 重大な故障になる前の点検チェック

●ブレーキはきちんと作動しますか？
ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。
自転車共通取扱説明書の「ブレーキの調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

7）故障かな？と思ったら…トラブルシューティング

●組み立てについて

症状	チェック項目	判定	対処方法
① ハンドルをヘッドパイプに差し込めない	ハンドルポスト先端の保護キャップは外しましたか？ 図1	保護キャップがついたままになっていた。	保護キャップを外してからヘッドパイプに差し込んでください
	保護キャップは外した さらにチェック! ウスは正しい位置にありますか？ 図2		ウスが正しい位置にないと組み立てられません。ピッタンコ自転車専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。
② ハンドルを固定するネジを締めこんでも、ハンドルが固定できない	ハンドルポストの先端にウスは付いていますか？ 図3	六角ボルトを緩めすぎて、ウスが車体内部に落ち込んでいる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドルポストに取り付けて、ピッタンコ自転車専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。

●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **後輪から「キーキー」音がする。**	ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。図4		
	├ ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	ピッタンコ自転車専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度ハンドルの組み立てを行ってください。
	└ ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	車体のブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。図5		
	├ ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	図5のように車体を通るブレーキワイヤがたるんだ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	たるみをなくすようワイヤを整えてください。図6
	└ ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）ですか？		
	├ 一週間以内のご使用の場合。→	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます（「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、不良ではありません）。ブレーキワイヤはあらかじめ少しきつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10回程度握ってください。 改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。
	└ お買い上げいただいて一週間以上使用の場合。 ↓ さらにチェック！		
	乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。		
	├ キーキー音がなくなった。→	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれると解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	
	└ キーキー音がなくならない。→	→	お買い上げ店様にご相談ください。
② **補助輪が地面から浮いている。**	片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から浮いている高さを測ってください。図7		
	├ 2～3cm浮いている。→	正常な状態です。	
	└ 4cm以上浮いている、または両補助輪とも地面についている。→	片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から2～3cm浮いているのが正常な状態です。補助輪が浮きすぎているのも、2つの補助輪が接地しているのも調整不良です（カーブを曲がりにくくなり、危険です）。	ピッタンコ自転車専用取扱説明書「4）ピッタンコ自転車特有の機能について」をご参照の上、調整してください。
③ **前輪リムが黒く汚れている。**	→ 正常です。	前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを作動させる役割があるため、ご使用いただくと必ず黒く汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。	
④ **パンクかな？と思ったら。**	「バルブ」のねじを確認してください。図8		
	├ バルブのねじが緩んでいる場合。→	緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、パンクではありません。	バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。
	└ バルブのねじが緩んでいない場合。 ↓ さらにチェック！		
	タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。		
	└ 空気が抜けてしまう場合。→	チューブに穴があいてパンクしていると思われます。	お買い上げ店様にご相談ください。（お客様の責任によるパンクの場合は有料になります。）